

# 給与支払報告書（個人別明細書）について

令和2年分より、基礎控除額・給与所得控除額などの改正があるため、作成時にご注意ください。国税庁ホームページをご覧ください。

## 長与町からのお願い

- 令和6年1月1日現在の住所を確認し、記載してください。長与町以外の市区町村分が混ざっていないかの確認をお願いいたします。
- 本人の合計所得が1,000万円を超えており、**同一生計配偶者**がおられる場合には、**摘要欄に同一生計配偶者がいる旨**を記載してください。(例：同配あり)  
※同一生計配偶者が**障害者**、**特別障害者**、**同居特別障害者**である場合には**氏名(同配)**と記載してください。(例：長与和美子)(同配)
- 退職者**や**給与が少額な者**(パート・アルバイトなど)、**確定申告をされる方**の分についても提出してください。

### 【住所】

令和6年1月1日現在の住所を確認してください。原則は**住民登録地**となりますが、住民登録地が長与町外の方で実際は1月1日に町内に居住していた人については長与町で課税される場合があります。**住所欄に長与町の住所、摘要欄に住民登録地**を記載し提出してください。

例：(摘要) 住民登録地：東京都〇〇区・・・

### 【扶養親族】

扶養親族の人数を記載してください。

※扶養区分にご注意ください。

- 特定…平成13年1月2日～平成17年1月1日生まれ
- 老人…昭和29年1月1日以前生まれ
- その他…平成17年1月2日～平成20年1月1日、昭和29年1月2日～平成13年1月1日生まれ
- 16歳未満…平成20年1月2日以前生まれ

### 【(源泉・特別)控除対象配偶者、控除対象扶養親族、16歳未満の扶養親族】

フリガナ、氏名、個人番号(マイナンバー)を正確に記載してください。

### 【本人該当事項】

受給者本人が該当する事項があれば○印を付けてください。

6

給与支払報告書個人別明細書

住所 長与町嬉里郷659番地1		(受給者番号) 123456	
(個人番号) 111111111111		(職名) ナガヨ タロウ	
氏名 長与 太郎		フリガナ ナガヨ タロウ	
種別	支払金額	給与所得控除後の金額 (調整控除後)	所得控除の合計額
給与	5,000,000	3,560,000	2,135,000
(源泉)控除対象配偶者の有無等		控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く)	16歳未満扶養親族の数 (本人を除く)
○	380,000	1	5
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額	地震保険料の控除額
225,000		120,000	50,000
住宅借入金等特別控除の額		71,250	
(摘要) (1)長与太郎(年少) 前職 株式会社〇〇商店 支払 1,000,000円 株式会社▲建設 社保 30,000円 源泉 10,500円			
生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	旧生命保険料の金額	介護医療保険料の金額
85,030	110,332	84,006	
住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除区分(1)回	住宅借入金等特別控除区分(2)回	住宅借入金等特別控除区分(3)回
1	30	4	1
扶養親族の人数	扶養親族の氏名	扶養親族の個人番号	扶養親族の扶養区分
1	長与 花子	22222222222222	1
2	長与 一郎	33333333333333	2
3	長与 次郎	55555555555555	3
4	長与 三郎	66666666666666	4
5	長与 四郎	77777777777777	5
6	長与 一子	88888888888888	6
本人該当事項	本人が障害者	本人が特別障害者	本人が同居特別障害者
○			
住所(原籍)又は所在地	長与町嬉里郷△△-××		
氏名又は名称	株式会社〇〇建設 (電話) 095-〇〇〇-××××		

### 【個人番号(マイナンバー)】

受給者のマイナンバーを正確に記載してください。

### 【氏名】

フリガナも必ず記載してください。姓と名の間は1字空けて記載してください。

### 【摘要欄】

- ◆同一生計配偶者がある場合(控除対象配偶者除く)
  - 障害者(特別障害者含む)に該当する場合  
同一生計配偶者の氏名及び同一生計配偶者である旨を記載してください。(摘要欄「氏名(同配)」)
  - 障害者(特別障害者含む)に該当しない場合  
同一生計配偶者がある旨を記載してください。(摘要欄「同配あり」)

①例：(摘要) 長与 美子(同配)

②例：(摘要) 同配あり

### ◆前職(他社)分の給与を含めた場合

前職(他社)分を含めて年末調整した場合は、必ずその**前事業所名・給与支払金額・社会保険料の金額・源泉徴収税額**を記載してください。  
※前事業所が**複数ある場合は複数名**、給与・社会保険料・源泉徴収税の額は**それぞれの合計額**を記載してください。

- ◆5人目以降の控除対象扶養親族・16歳未満の扶養親族の記載  
摘要欄・・・(1)長与五郎(年少) 控除対象扶養親族・16歳未満の扶養親族欄5人目以降の個人番号  
・・・(1)99999999999999  
※個人番号と摘要欄の氏名を( )内の番号で対応させてください。

### 【生命・地震保険料支払額】

生命保険料控除、地震保険料控除に該当する方については、必ず**保険料の支払金額の内訳**を記載してください。

### 【住宅借入金等特別控除】

住宅借入金等特別控除額が算出所得税額を超えるため、年末調整で控除しきれない控除額がある場合には、住宅借入金等特別控除可能額を記載してください。  
住宅借入金等特別控除区分欄は、「住」、「認」、「増」、「震」のうち該当するものを記載してください。また、特定取得等に該当する場合は(特)、(特特)等と記載してください。例：住(特)、認(特)  
また、**増**については「特定増改築等住宅借入金等特別控除(一定のバリアフリー改修工事や省エネ改修工事等を行った場合の税額控除)」であり、**住、認**との記入誤りが多いため内容を再確認ください。  
※他の詳しい記載方法は国税庁ホームページをご覧ください。

### 【中途就・退職】

中途就職または退職された場合は、いずれかの欄に○印を付け、その年月日を記載してください。  
※前職(他社)分の給与を合算している場合は摘要欄に記載漏れがないか確認してください。

給与支払報告書の記載方法については、税務署が送付する「給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」または国税庁ホームページをご覧ください。

国税庁>パンフレット・手引>「年末調整のしかた」  
国税庁>パンフレット・手引>「給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」